

第21回 日中学院倉石賞の受賞者が決まりました。

受賞者：日中21世紀翻訳会・周而復

『長城万里図』(全六巻)刊行会 伊井健一郎

推薦者：橘英範 岡山大学大学院准教授

しばらくお休みをいただいていた「日中学院倉石賞」が2016年に再開して、その年に受賞されたのが公益財団法人国際文化フォーラムでした。翌年は日中文化市民サークル“わんりい”、そして第21回の今年受賞されたのは伊井健一郎先生が代表をつとめられる「日中21世紀翻訳会・周而復『長城万里図』(全六巻)刊行会」でした。

周而復『長城万里図』は中国版『戦争と平和』とも呼ばれる大長編です。第1巻「南京陥落・平和への祈り」、第2巻「長江-正義と勇気の大海へ」、第3巻「逆流と暗流」、第4巻「太平洋の夜明け」、第5巻「黎明」、第6巻「霧の重慶」まで全六巻375万字。1937年の盧溝橋事件前後から、1945年8月に日本が降伏した後、国共重慶会談に出席するため毛沢東が重慶に到着した場面までを描いた現代歴史小説です。

著者の周而復は1914年1月3日、南京の生まれ。本名は周祖式。38年に上海光華大学英文学部卒業の彼は、抗日活動中に毛沢東や蒋介石らとも面識があったといえます。解放後は外交活動に従事し、文化部副部長なども歴任、2004年1月8日、90才で逝去。代表作に「医師ベチューン」、「上海の朝」などがあります。

姫路獨協大学教授の伊井健一郎さんが著者の周而復先生と初めて面識を得たのは1994年9月、北京大学で在外研究をしていた時でした。伊井さんは周先生と「全六巻を必ず翻訳する」ことを条件に『長城万里図』の翻訳出版契約を締結し、訳者名を「日中21世紀翻訳会」としました。

日中21世紀翻訳会が翻訳活動を始めたのが1995年。1996年には翻訳出版活動を続けるために「周而復『長城万里図』(全六巻)刊行会」が組織され、寄付金集めも行われました。第1巻「南京陥落・平和への祈り」の上巻が(株)晃洋書房から翻訳出版されたのが2000年2月でした。最後の第6巻「霧の重慶」の下巻が(株)教育評論社から出版されたのは2017年6月でした。全六巻(翻訳本は13冊)の企画から翻訳出版完成までには実に22年の歳月が費やされました。

著者の周而復先生、監修に尽力された建内実先生始め、翻訳出版に協力した方々のうち数名は鬼籍に入られました。商業出版としては成り立たないと思われた本書の翻訳出版事業が完成したのは、「日中関係の現代史をしっかりと認識しよう」という信念に基づいて翻訳作業に協力した延べ134名にも及ぶ翻訳者の方々と企画推進を貫徹された伊井健一郎さんの熱意と献身的な努力とを切り離すことはできません。

本書は国立国会図書館、アジアセンター21(大阪)、長崎市立図書館、東京大学図書館、神戸市外国語大学図書館などで閲覧できます。日中平和友好条約締結40周年にあたる今年、日中関係も正常な状態に回復しました。両国民の相互理解と友情が深まり、平和共存関係が続いて行くためにも、本書がもっと多くの人々に読まれることが日中学院の願いでもあります。

授賞式：11月24日(土) 13:30～ 日中学院にて

内容：受賞者による活動報告

参加をご希望の方は、当日お越しください。



中国瀋陽での留学フェアに参加しました。

A 先生の新語コーナー



sānjiǎyiyuàn “三甲医院”

「三级甲等医院」の略で、中国の最高ランクの病院を指す。北京では協和病院、北京大学病院、中日友好病院などが含まれる。中国の病院は機能、任務の違いによって1級(ベッド数100以内で末端医療を担当)、2級(同101～500で地域の総合医療を担当)、3級(同501以上でハイレベルの広域医療を担当)がある。各級の病院はさらに甲、乙、丙の3等に分かれており、うち3級病院だけ特等がある。従って中国の病院は3級10等に分かれている。(A)

6月9日に小山ひとみ先生にご講演頂きました。10月号に引き続き、当日の様子をご報告します。

小山ひとみ先生講演報告「中国のミレニアル世代とユースカルチャー」

(2018.10より)

テレビ離れとオンライン番組

九〇後のもう一つの特徴は、彼らが一切テレビを見ない世代になっていることです。ネット上で放送されている番組を見ている。去年大ヒットしたのが、「The Rap Of China」というヒップホップのバトル番組です。これは去年6月に放送がスタートし、私の周りのミレニアル世代で見てない人はいない位でした。

ヒットしているもう一つのオンライン番組がアイドル番組です。例えば、「プロデュース101」という番組が今放送中です。(すでに放送終了)ミレニアル世代の女性の応募で通った101人に、ダンスや歌などレッスンしてもらい公演をして視聴者に見てもらうのです。最終的には101人から11人に絞り、一つの女性アイドルグループを作るという企画です。この番組にはオンライン上の投票を通じて視聴者が参加できるのです。これはテレビでは得られなかったものです。

また、今年の1月から4月まで男性アイドルをプロデュースする番組もありました。一番人気だった男性を支持しているファンが、放送中にニューヨークのタイムズスクエアに広告を出しました。調べてみると、タイムズスクエアに広告を出すには、一ヶ月単位で約30万ドルから40万ドル(日本円にすると3300万円から4400万円)ほどの広告費がかかるそうです。それをファンのミレニアル世代の子たちが出しあって、広告を打ったのです。ちょっと前までは、日本や韓国のアイドルを支持していた人たちがすごく多かったのですが、現在は中国国内のアイドルに目を向けるという傾向も増えてきています。

消費の牽引力

もう一つ、九〇后世代の特徴は消費意欲が高いということです。彼らは、自分が気に入ったものに惜しみなくお金を費やしています。2015年に日本経済新聞で20歳代の消費動向を調べたアジア10か国の若者調査というのがありました。その調査で、購入時に価格を重視していない人が一番多かったのは、中国でした。日本の若者の40%が価格を気にすると答えているのですが、中国の若者で価格を気にする人は10%未満でした。

以前、中国のミレニアル世代に「買い物をするところか」インタビューしたことがありました。海外のものも含めていろんなブランド

を集めたセレクトショップで買うという反応がありました。私自身も中国各地のセレクトショップをまわったのですが、お客さんは20～30代の若者が圧倒的に多くて、個性を出すためにセレクトショップを選ぶ傾向にあるということが分かりました。

起業に関心

ミレニアル世代の中には起業(スタートアップ)する人も断然増えて来ています。政府も大学も若者のスタートアップをサポートしています。中国のファッション業界でも起業しているミレニアル世代が多いことに気がきました。

一つ紹介したいのは、北京でブランドを立ち上げたデザイナーです。彼女は、ロンドンでデザインの勉強をした経験があります。2008年のオリンピックの前に一時帰国をした際に、中国の変化にびっくりしたそうです。2010年に帰国して、自分でブランドを立ち上げて、自ら運営しています。

もう一人、ブランドを立ち上げた男性のデザイナー(1988年生まれ)もロンドンで勉強して、現在はロンドンをベースに、上海に行ったり来たりしています。

上海のファッション業界

ファッション業界では春夏、秋冬に分けて、年二回新しいコレクションを発表するのですが、その発表の場のひとつでもある「上海ファッションウィーク」にはミレニアル世代の若者しか参加できないイベントもあります。東京ファッションウィークと全く違って、やはりミレニアル世代の動きが非常に目立っています。ヨーロッパのバイヤーやメディアの人がソウルのファッションウィークには行くが、場合によっては東京には寄らずにそのまま上海のファッションウィークに行ってしまうと言う声も聞いた事があります。

私が普段接しているミレニアル世代は上海、北京、成都などの大都市や東京、ニューヨークなど海外で生活している人々、しかも大学や大学院を出ている人が多いので、それ以外の都市で暮らすミレニアル世代、ユースカルチャーにはまた別の動きがあるのかも知れません。ただ、今日ご紹介したような動きは確実に存在しています。まだあまりメディアなどで紹介されないミレニアル世代のこと、ユースカルチャーのことを少しでもご紹介できればと思いお話をさせていただきました。

(完) 文責・学院報編集委員会

追悼 朱旭さん



中国で話劇を中心に映画等で活躍された名優朱旭さんが、9月15日病気のため逝去されました。享年88歳でした。朱旭さんは、北京人民芸術劇院所属の舞台俳優でしたが、50代で映画《赤い服の少女》にて映画デビューし、その演技が評価され次々と映画に出演し、中国全土で名前が知られるようになりました。

日本では1995年に放映されたNHKドラマ『大地の子』（山崎豊子原作）で、中国に残された日本人孤児を引き取り、血のつながらないわが子を無償の愛情を持って育てた養父役で出演、日本人ということで苦難に遭い続ける我が子を厳しくまた愛情を持って接する姿が感動を呼び、日本でも広く知られる中国の俳優となりました。ドラマ放送後の反響は大きく、その後来日した朱旭さんはNHKや民放テレビのニュース情報番組にゲスト出演もしています。その後も多数のドラマや映画に出演し、朱旭さんが出演した映画やドラマはいずれも高い評価を得ています。謹んでご冥福をお祈りします。

★朱旭さん出演作品（図書室所蔵のみ掲載）

- 『赤い服の少女』（映画）原題：《红衣少女》
- 『乳泉村の子』（映画）原題：《清涼寺钟声》
- 『鼓書芸人』（映画）原題：《鼓书艺人》
- 『大地の子』（ドラマ）

- 『こころの湯』（映画）原題：《洗澡》
- 『變臉（へんめん）この權に手をそえて』（映画）原題：《変脸》
- 『似水年華 歲月、水のごとく』（ドラマ）原題：《似水年华》(テキスト中国語・日本語訳付きです)
- 『西太后の紫禁城』（ドラマ）原題：《日落紫禁城》
- 『ザ・トリートメント 刮痧』（映画）原題：《刮痧》

★朱旭さんインタビュー

- 『中国語ジャーナル』アルク 2008年4月号
人物インタビュー：ゲスト：朱旭
※附属CDに朱旭さんのインタビュー音声があります。
- 『中国映画の明星（スター）』石子順 著 平凡社
※著者が朱旭さんのご自宅を訪ね、ご自身の俳優人生や、出演した映画のお話などをインタビュー。朱旭さんの人物像に迫っています。

<寄 贈>

下記の方々より著書をご寄贈頂きました。ありがとうございました。

- ★温又柔様（著者）より
- 『台湾生まれ 日本語育ち』（白水Uブックス）
- ★武吉次朗様（著者）より
- 『日中中日翻訳必携』シリーズ4冊
（『日中中日翻訳必携・実践編・実践編Ⅱ、実践編Ⅳ』）

日中学院図書室（2階奥）

開室時間：12：00-18：45（月-金）
12：00-18：00（土）

※なお臨時休室や開室時間の変更がある場合があります。詳細は学内掲示の開室スケジュール、当学院サイトの最新情報をご確認ください。

遠上寒山石径斜
さびしいやまに こいしのかみち
白雲生處有人家
くもわくところ ひとのいえあり
停車坐愛楓林晚
たちどまりみる ひぐれのかえで
霜葉紅於二月花
そのいろはるの はなにもまさる

遠く寒山に上れば
せつげいなな
石径斜めなり
白雲生ずる処
じんかあ
人家有り
車を停めて坐に愛す
くるま
楓林の晩
ふうりんのかん
霜葉は二月の
そうよう
はな
花よりも紅なり

山行
やまあるき

杜牧
トボク

このコーナーでは、古来から書き下して読むのが主流の漢詩を、七七調に和訓して（読みやすい日本語を当てて）紹介します。

「漢詩和訓」（第六回）

勝手に

企画 Y 先生

11月の日中学院

星期日	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五	星期六
				1 ●本科推薦入試 締切	2 ●日本語科 デイズニールランド	3 ●休日
4 ●本科推薦入試	5 ●新10月生 授業開始	6 ●本科推薦入試 合格発表	7 ●本科1次募集 受付開始	8	9	10 ●本科生のための 公開講座 (9:30~) ●放平松先生を しのぶ会
11 ●日本留学試験	12	13	14	15	16	17
18	19 ●日本語科定期試 験 (~22日)	20	21	22	23 ●勤労感謝の日	24 ●倉石賞授賞式
25 ●中国語検定試験	26	27	28	29	30 ●本科1次入試 受付締切	

●12月の日中学院

- ・1日…別科公開講座13:00~(入門)
- ・2日…本科1次入試/別科一日集中講座
- ・4日…本科1次合格発表
- ・5日…本科2次募集受付開始

- ・7日…別科公開講座18:45~
- ・14日…本科定期試験(~20日)
- ・15日…別科公開講座13:00~(入門・基礎)
- ・21日…本科・日本語科 冬休み(~9日)
- ・22日…271期 別科授業最終日

- ・26日…冬休み 閉門(~1/6)

図書室開館時間(別科学期間休みは異なります)

月~金 12:00~18:45

土 12:00~18:00

○日曜1日集中講座

12月2日(日)



平日は時間がとれないという方も、この機会に学んでみませんか？

- ①お試し中国語(入門) 担当:小澤光恵・胡興智
レベル:中国語を初めて学習される方
- ②発音ステップアップ 担当:王淑絹
レベル:中国語発音を一通り学習された方
- ③听说説話 担当:靳園元
レベル:中国語検定3級以上の方
- ④文法も楽しい 担当:長澤文字
レベル:中検3級~2級程度の方
- ⑤聴解力アップ 担当:金鮮榮
レベル:中検3級以上、また、HSK 4級以上

時間:10:00~12:00/

13:30~15:30(4時間コース)

受講料:8,000円(定員:16名)

お申込み:お電話、HP、受付等でお申込み下さい。

お支払:窓口もしくは、銀行口座へお振込み下さい。

学院長の思い出話 5

就職と初訪中

瞬く間に大学4年生になり、就職活動の時期になりました。しかし、中国語を活かして働ける職場は極めて少ない状況。1968年、国交がない中でも民間貿易の促進をしている日本国際貿易促進協会(国贸促)で求人があると聞き、応募して採用されました。

1970年4月、広州輸出商品交易会(広州交易会)に参加したのが私の初訪中。まず香港に行き、入国ビザを得てから、羅胡に行き、トランクを引いて深圳橋を越えて、九龍税関で入国手続きをしました。香港啓徳空港で、出迎えに来た香港中国国際旅行社のポーターから手持ち鞆を託送するのかと聞かれ、「这个，我自己拿」と言い、通じました。国外で初めて使った中国語でした。九龍税関での荷物検査が終わると、レストランで昼食。

初めての本場の中国料理の美味しかったこと。今でも鮮明に覚えています。(片寄浩紀)